

労働者福祉南部ブロック協議会(略称・南部労福協) 2019年度定期総会開催報告

2019年度の定期総会は、役員改選の年にあたり、佐藤会長より大久保会長へ、社合事務局長より竹野事務局長へ交代されました。事務局が大分県労働者福祉協議会(大分県労福協)より宮崎県労働者福祉団体中央会(宮崎中央会)へ引き継がれました。

南部労福協2019年度定期総会開催

〈メインスローガン〉 連帯・協同で安心・共生の福祉社会をつくろう!

労働者福祉南部ブロック協議会(南部労福協)は、2019年2月19日(火)、14時から大分市全労済ソレイユにおいて2019年度定期総会を開催しました。

総会には、九州・沖縄各県労福協から選出された代議員、福祉事業団体の役員等、57名が参加しました。福岡県労福協からは、西村理事長、梶原副理事長、佐田副理事長の3名が総会代議員として出席し討議に参加しました。(藤吉専務理事は南部労福協役員、矢嶋理事、坂本理事、木村ライフサポートふくおか事務局長は、傍聴として参加しました。)

最初、藤吉幹事(福岡県労福協専務理事)の開会挨拶で始まり、議長団に大分県労福協から麻生代議員(九州労金大分本部)と篠田代議員(全労済大分推進本部)の両名が選出され議事に入りました。

はじめに、南部労福協幹事会を代表して佐藤会長(大分県労福協理事長)から挨拶があり、その後、中央労福協 黒河副会長、連合九プロ連絡会 西村代表幹事、大分県商工労働部 高濱部長から祝辞と連帯のご挨拶がありました。

その後、社合事務局長(大分県労福協専務理事)から、第1号議案・2018年度活動報告、第2号議案・2018年度会計決算報告及び繰越金処分案、後藤会計監査員より会計監査報告、第3号議案・2019年度活動方針(案)、第4号議案・2019年度予算(案)、第5号議案・役員改選について提起され審議の結果、満場一致で承認されました。そして、旧役員の挨拶があり、総会の終了にあたって、議長団から総会スローガンが提案され、全体の拍手で採択されました。

最後は、江頭幹事(佐賀県労福協専務理事)から閉会の挨拶があり、15時50分に終了となりました。

19年度 定期総会



開会挨拶をする藤吉専務理事



記念講演会
「沖縄県労福協のこれまでとこれから」
沖縄県労福協 岡野みゆき氏

2019年度南部労福協幹事会役員

| 役職名 | 氏名 | 選出団体名 | 備考 | 役職名 | 氏名 | 選出団体名 | 備考 |
|------|-------|---------|----|------|-------|-----------|----|
| 会長 | 大久保貴史 | 宮崎県中央会 | 新 | 幹事 | 川平 正人 | 沖縄県労福協 | 新 |
| 事務局長 | 竹野 広幸 | 宮崎県中央会 | 新 | 〃 | 矢田 信浩 | 連合九プロ | |
| 幹事 | 藤吉 眞二 | 福岡県労福協 | | 〃 | 高橋 和善 | 九州労働金庫 | |
| 〃 | 江頭 一哉 | 佐賀県労福協 | | 〃 | 成岡 義光 | 沖縄県労働金庫 | |
| 〃 | 松尾 清弘 | 長崎県労福協 | | 〃 | 岩木 克明 | 全労済福岡推進本部 | |
| 〃 | 末長 孝 | 熊本県労福協 | | 会計監査 | 寺下 博康 | 宮崎県中央会 | 新 |
| 〃 | 吐合 史郎 | 大分県労福協 | | 〃 | 児玉 賢一 | 宮崎豊園 | 新 |
| 〃 | 畑中 和広 | 鹿児島県労福協 | | | | | |

南部労福協の目的

九州8県における勤労者福祉活動の連絡調整と交流をはかり、勤労者福祉運動全般について統一行動、教育事業、組織活動などの総合推進を行い、生活の向上に寄与することを目的とする。

労働者福祉南部ブロック協議会規約（目的）第2条

南部労福協の活動

- 1 協同事業、労働者福祉事業の拡大発展に関する事項。
- 2 勤労者福祉に関する調査研究、教育研修、経験交流に関する事項。
- 3 労働者福祉の向上と社会保障制度の確立に関する事項。
- 4 その他目的達成に必要な事項。

労働者福祉南部ブロック協議会規約（活動）第3条

全国一斉労働相談ホットライン

日時 / 2019年2月6～8日 10:00～19:00

| 相談件数 | 2/6(初日) | 2/7(2日目) | 2/8(3日目) | 合計 |
|-------------|---------|----------|----------|-----|
| ※ 数値的なものはなく | 8件 | 6件 | 2件 | 16件 |

連合福岡では、労福協のライフサポートふくおかと協力して、労働相談ダイヤルを常時開設しています（平日10:00～17:00）。また年3回（2・6・12月）は、全国で統一のテーマを掲げた「全国一斉労働相談ホットライン」というキャンペーンを実施しています。

今回は2019年4月より改正労働基準法が施行されることから、36協定の適正な締結など、すべての職場でより良い働き方の実現と、働く人たちのセーフティネットづくりを目指すキャンペーンとして実施しました。各地域での事前周知や、マスコミの取材もあり、3日間合計で16件の相談があり、2名のアドバイザーはそれぞれの相談に親身になり対応していました。

また、昨年の12月からキャンペーン中に限りですが、「LINE」労働相談も始めました。「電話では話づらい」「勤務

シフトを見てほしい」といった声に応えた取り組みで、まだまだ試行段階の取り組みではありますが概ね好評いただいております。

今回は「男女平等」をテーマにしたキャンペーンを6月3・4日を実施する予定です。



九州ろうきんからの

お知らせ

福岡県児童養護施設協議会に 寄付金を贈呈しました！

2019年1月24日(木)、九州ろうきん福岡県本部は「2018年末こどもみらい応援キャンペーン」での取り組みにより、福岡県児童養護施設協議会に788,235円を寄付するための贈呈式に参加しました。

贈呈式では、当金庫の梶原本部長による目録贈呈の後、福岡県児童養護施設協議会の中島会長より丁寧な謝辞をいただき、当金庫の寄付金が児童養護施設で暮らす子どもたちの成長のために非常に有効であることを窺うことができました。

「2018年末こどもみらい応援キャンペーン」は当金庫が2018年11月～12月にかけて実施し、お預けいただいた定期預金(一部高品除く)の金額の0.02%を、九州ろうきんが「子どもたちを支援する団体」に寄付するというものです。その結果、福岡県内の営業店に合計3,941,177千円(目標達成率140.80%)と全店で目標を上回る定期預金をお預けいただいたことから、その0.02%にあたる788,235円を福岡県児童養護施設協

議会に寄付しました。

寄付金は、福岡県児童養護施設協議会が主催する野球大会やバレーボール大会の備品購入費用、職員の皆さまがより子どもたちに寄り添った対応ができるための研修費用などに充てられ、みらいを担う子どもたちがより活き活きと成長するために役立てられています。



左:福岡県児童養護施設協議会中島会長
右:ろうきん福岡県本部梶原本部長

退職金の運用を相談してみませんか？

もうすぐ定年退職を迎えたり、身近に定年退職を迎える方がいらっしゃる場合などは、退職金の使い道について、何となく考え始めている方もいらっしゃるのではないでしょうか？

ろうきんをはじめとするいくつかの金融機関では、金利を上乗せした退職金専用の定期預金や投資信託と定期預金をセットにした商品があり、充実したセカンドライフを金融面でお手伝いしています。また、定年退職を機に資産運用を始めようと思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、投資が初めてであれば、気軽に申し込めるといった手続きの簡便さよりも、分かりやすい説明や親身になって対応してくれる金融機関で相談することをおすすめします。元本割れの可能性をゼロにすることはできませんが、元本割れの可能性を低くするためのアドバイスを受けられたり、投資に必要な情報の提供などを受けられるからです。また、手数料など費用の安さも金融機関選定のポイントのひとつです(販売

手数料が低くても、信託報酬というお客さまが間接的に負担する手数料が高い場合がありますのでご注意ください)。

ろうきんでは、「顔の見える営業」をモットーとし、はたらく人の立場にたった対応を心がけています。退職金のお預け入れや資産運用の相談は、お気軽にお近くの(ろうきん)までお越しください！

2019年度
退職金専用定期預金
0.3%
元本割れ
0.3%
元本割れ

2018年度

福岡県労働者共済生活協同組合(全労済福岡推進本部) 担当役員研修会の開催について

全労済福岡推進本部では、2019年1月28日(月)にヒルトン福岡シーホークにて2018年度福岡県労働者共済生活協同組合(全労済福岡推進本部)担当役員研修会を開催しました。

担当役員研修会は、全労済運動に関する情報・状況の共有化をはかり、今後の推進強化をはかることを目的とし、協力団体の全労済担当役員を対象として、毎年開催しています。

研修会では、全労済福岡推進本部における2018年度の取り組み状況の共有化を行うとともに、下半期の取り組み方針についての具体的な施策の説明を行いました。また、「各協力団体での特徴的な取り組み事例について」と題し、協力団体役員の方々から、各組織における全労済運動の取り組み事例を報告いただきました。

参加者からは「取り組み姿勢に刺激を受けた。」「マイカー共済の見直し結果や制度改定の掛金変動のデータをしっかり把握されており、たいへん素晴らしい。」「1人でも多く可処分所得の向上をはかっていきたいと感じた。」など多くの感想をいただきました。

さらには、「どんな境遇にある若者も見捨てない」と題し、NPOスチューデント・サポート・フェイス代表の谷口仁史様より、若者が孤立してしまう社会的現状や社会的孤立・排除を生まない支援体制の確立の重要性など、谷口様のご経験をもとに詳しくご講演いただきました。参加者からは、「素晴らしい取り組みで全国に広がって欲しい。」「引きこもり等の社会問題の深刻さを改めて知ることができた。」「若者の自立を後押しする事を自分のできる範囲で行っていく事が重要である。」などの感想をいただきました。



発表いただいた方々



イオン九州労働組合 中央執行副委員長
彌常 雅章 様



高田工業所労働組合 組合長
入沢 圭 様



三井三池製作所労働組合 執行委員長
高橋 誠 様



NPOスチューデント・サポート・フェイス代表
谷口 仁史 様

 一般社団法人 福岡県労働者福祉協議会

〒812-0025 福岡市博多区店屋町6番5号 小松ビル2階

TEL 092-263-3141 FAX 092-263-3121

[ホームページ] <http://fukuoka.rofuku.net/> [メールアドレス] roufuku@h8.dion.ne.jp

ろうふく協 NEWS
vol.159

発行 2019年3月20日

発行人 西村 芳樹

編集 藤吉 真二